

ワークショップを通して中学生が考える“性”

(代表者) 附属平野中学校 教諭 堀口 健太郎
(分担者・協力者) 附属平野中学校 副校長 山田 雅弘
附属平野中学校 教諭 高岸 康文

- 目的
- ・「性」についての正しい知識を学習し、男女共同参画社会の実現のため自ら判断し行動できる力を身につける。
 - ・ワークショップ型の授業実践を行うことで、自ら課題に気づかせ、問題解決の提案を行う。「性」についての多様な価値観を意見交流し、基本的人権を尊重する態度を養う。
- 実施形式等
- 平成28年 ①1月18日(月)6限 2年・120名
外部講師による授業(3クラス合同)[一斉授業型]
:「性の境界線について」
- ②1月19日(火)2・3・4限 2年学級別
外部講師による授業(学級別)[ワークショップ型]
:「性の境界線と人権・男女共同参画社会とは」
- ③1月20日(水)1・2・3限 2年・学級別
事後学習(学級別)ワークショップのまとめ、今後の行動でどう活かすか等、振り返りを行う。
- 実施場所 大阪教育大学附属平野中学校
- ①合同教室
- ②2限:2年2組教室 3限:2年1組教室 4限:2年3組教室
- ③1限:2年1組教室 2限:2年2組教室 3限:2年3組教室
- 協力団体 NPO法人 えんばわめんと堺[SAYの会]

【授業実践報告】

中学校では「男女共同参画社会」については公民・家庭分野で、「性」については保健分野で授業を行う。中学生は社会人として経験があるわけではなく、家庭生活以外に共同参画社会について想像ができていない。また思春期を迎え「性」に対する関心や身体の変化に悩みを持っている生徒も多くなるが、LGBTなど性における実態と課題に深く追及することはなかなか難しく、授業でも工夫をする必要がある。

これらにおいて、男女共同参画社会の実現や性の課題に日々取り組んでいる団体の研究や、啓発活動の一環として進められる取り組みは、教師が行う授業とはまた違って生徒にとって新鮮で関心・理解が深まりやすい。

本校では今年度“アクティブラーニング”を研究課題の一つと位置付けており、普段から言語活動や意見交流・協働学習を活発に行っていることから、生徒たちは学び合い安心して意見を交流できる関係が築けている。またその有用性も各教員が理解し実践している。

今回は、社会科と総合的な学習の時間を結び付けた授業を組み立て、NPO法人「えんばわめんと堺[SAYの会]」(以下「SAYの会」)の方々と連携し、ワークショップ型の授業を実践、その後まとめの学習を行った。

- ① **1限目** 1月18日(月)6限 2年・120名
(3クラス合同)[一斉授業型]

テーマ「性の境界線について」

大阪教育大学附属平野中学校 合同教室

講師：えんばわめんと堺〔SAYの会〕3名

2年生全員（120名）をひとつの場所に集めて合同で授業を行った。授業内容は以下の通りである。SAYの会の方との打ち合わせで、生徒には事前に学習内容を紹介しない方が効果的であるとの指摘を受け、生徒たちには知らせずに授業を開始した。SAYの会の方の自己紹介から始まり、その後からだに関するクイズを行うことで生徒の意識を高めた。

「ジェンダー」や「性の自立」についてパワーポイントを使用して説明を行った。学習する内容には、必ず問いかけ（発問）があり、思考の時間を設けた。またこれらの思考は隣の生徒同士で説明しあうペアワークを行った。特に「性の境界線」については、パーソナルスペースという考え方の紹介があり、近くの生徒に特に近づいたりするとどんな気持ちになるか等、生徒を実際に動かして体験させることで理解を促した。前で話す講師以外に2名の講師が教室の後ろから生徒の間を常に移動して、話し合い活動の時には積極的に質問に答えたり、議論を活性化させるために助言を行ったりした。

最後の質疑応答では、生徒からも積極的に質問が出た。また「性」については人前で話すことが難しい生徒もいるため、感想を書くワークシートを配布して質問も書くように指示をした。これらの質問については授業後、SAYの会の方々と打ち合わせを行い、2日目の授業の課題に含めた。

<学習内容>

- ・ SAY（性・生）の会の紹介
性（からだと気持ち）の多様について知り、自分の性に向き合い語ることは生きていく上で大切であることを伝える
- ・ からだの機能に関するクイズ
《あなたは「からだ」のことをどれくらい知っていますか？》
からだの仕組みと名称、大切さを伝える
- ・ ジェンダーについて
ジェンダーの刷り込みとメディアからの影響について考える
- ・ 性の自立
「わたしのからだはわたしのもの」で、
基盤となる「食事・睡眠・排泄・清潔」
自分自身がしっかりと管理できることが
性の自立へとつながることを学ぶ
- ・ 境界線
わたしの境界線・あなたの境界線
パーソナルスペース



② 2限目 1月19日（火）2・3・4限 2年学級別

（学級別）〔ワークショップ型〕

テーマ「性の境界線と人権・男女共同参画社会とは」

2限：2年2組教室 3限：2年1組教室 4限：2年3組教室

講師：えんばわめんと堺〔SAYの会〕3名

前日とは変わり、各学級に分かれてそれぞれ授業を行った。前日の様々な事例や分類など知識を教える授業から変わり、学級に分かれてワークショップを含めた授業を

実施した。

ワークショップは、SAYの会の方が寸劇（ロールプレイ）を行い、それについて意見を考え話し合うというものである。前日に授業をしていることもあり、SAYの会の方とは、人間関係ができていて、積極的に疑問をぶつける様子も見られた。

ロールプレイはSAYの会の方々が、青色と赤色のトレーナーを着用し、男女の役割を演じた。男女は交際しているが、男子は周囲の友人から「キスをいつするのか」と迫られて悩み、一方で女子も周囲の様々な情報に影響される一方、どんな付き合い方がいいのか悩んでいる状態であることを表した。友人から「このようにしたらいい」と薦められたときにどのように返事をするのか、また交際している人から望んでいない性行為などを迫られたとき、どのように返答するかを考えた。これらは学習班で討議して、それぞれ発表をした。また男女の交際でコミュニケーションがうまくできないと、「デートDV」などに発展してしまうことが説明された。

ロールプレイによる話し合いが終了後、人との付き合い方、頼み方や断り方を考えるワークショップを実施した。自分が「キレルステップ」や「タメるステップ」などのタイプに含まれるか考え、自分の意思を相手に誠実に伝える「アサーティブ」の方法を学んだ。またこの方法を、学習班の中で実演した。

最後の質疑応答は時間がなかったため、感想を書く中で質問をするように指示した。

<学習内容>

- ・前日の復習
- ・ロールプレイをみて考える
つきあうとは？

ねらい：つきあいから見えてくるジェンダーの刷り込みと
ピアプレッシャーを考える

まわりの友達からのプレッシャーによりキスをしてしまうカップルについて考える。子どもたちの周りでささやかれる噂や、当たり前だと思っていること、社会やメディアからの影響について検証する。デートDVについても触れる。

- ・コミュニケーション ～自分も相手も大切にする人間関係作り～
資料「アサーティブ」クロちゃんプリント
- ・まとめ 感想を書く



③ 3 限目

前回の授業の最終に、感想と質問を書かせた。その内容をもとに、全体に周知したい質問について、SAYの会の方々から返信のお便りを作成してもらった（添付）。これを配布しながら、様々な単語の復習や考え方をもう一度確認する事後学習を行った。外部講師の授業も緊張感があるが、普段から授業で繋がりのある授業担当者や担任が、もう一度話をすることで素直な意見をさらに聞けたり、知識の定着を図ることができた。

【考察】

(1) 「性」について

本校の生徒は、男子女子の仲は良く、分け隔てなく会話や活動ができる。「性」については、保健分野や家庭分野で、一定の知識を学習しているものの、経験は少ない。2年生の多くが思春期を向かえ、「性」に対する関心や身体の変化に悩みを持っている生徒が多くなっている。今回の授業では、身構えないようにするため、あえて事前にアンケートを実施しなかったが、事後の感想の中では、「性」について様々な感想を持っていることがわかった。身体的な変化に興味を特に示す生徒がいたり、家庭の課題を抱えている生徒が存在したりしていることもわかった。一方で、自分の性について悩んでいる生徒も存在しており、「LGBT」だけではなく、「性には境界線がなく、自分が決めることである」との考え方で、じっくりと自分に向き合うことが大切である。

(2) 「ジェンダー」について

ジェンダーに関する知識については、生徒にとっては初めての考え方であったと思う。身体的な性別とは違い、文化や社会の変遷の中でつくられていった性差のことであるが、例えば男子は“青”，女子“赤”と決めているのはなぜ？といった事例を出すことで、多くの生徒に気づきや発見があった。またそれらの「性差」を、SAYの方々は一方向的に否定するのではなく、「あたりまえのことに疑問を持つ、わからなければ調べる。周囲に流されるのではなく、自分の意見を持つ必要がある」と述べられた。生徒にとっては納得のいく話であったと思う。

(3) 男女共同参画社会について

実際に社会人になっていない中学生には想像することが難しい部分がある。そのため、今回は、ジェンダーの理論や性の多様性について学習する前半と、男女の交際方法や、他人との付き合い方に焦点をあてた、コミュニケーション方法を考える後半に分割して授業を実施した。これらのことが最終的に結びついてこそ、男女が互いに協力し、社会を共に築いていく男女共同参画社会の実現に向かうと考えた。これらのことは、SAYの会の方々との綿密な打ち合わせを重ねた結果であり、とにかく知識を与えるの方法はとらず、男女の交際という身近な事例からデートDVについて触れ、男女の平等な付き合い方（協力の仕方）を考えさせることが、効果的であると考えた。

(4) 外部講師との連携について

生徒から出た疑問の中で、全体に周知したいものについては、SAYの会からのお便りでフォローされている（資料添付）。個人的に気になる生徒については、カウンセリングなどを通じて相談していく。また、感想ではSAYの会の方に、実名で悩みを相談した生徒もいた。この生徒は男子で、交際方法に悩みを抱えていたが、SAYの会の方が直接連絡をとる形で、学校とも連携して相談に乗っていくことになった。

以上のように、外部の専門的な団体が授業に入ることによって、生徒にとっては緊張感がある一方、心を開いて相談する生徒もいる。学校の実態を、これらのNPO法人の方に知っていただけることも非常に効果的だと感じた。

(5) 全体をつうじて

生徒に「性」についての多様な視点と価値観を考えさせて意見を交流させることは、個人を尊重する人権意識を向上させる上で有効であると考えた。また、授業では一方向的に教えるのではなく、自ら考え、実践に活用するワークショップ型の授業形式を採用した。生徒は楽しく積極的に授業に参加でき、よい考える機会になったと思う。これらの結果を踏まえ、生徒による男女共同参画社会への提言や自分たちの中学校生活をさらに充実させる活動につなげていきたい。

Aggressive
キレるステップ
ギョオス



友だちが学校の帰りに、

「明日カラオケ行くけど、いかない？」と言った。

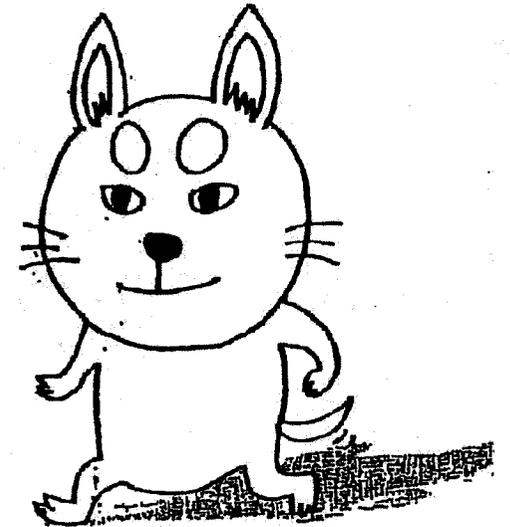
でも、自分には行きたくない。

★ お互いの関係性を悪くしないように、うまく断ってみよう！★

Passive
タメるステップ
オドオド



Assertive
しなやかステップ
アサーティブ



Passive-Aggressive
ゴモるステップ
ムツリ



Aggressive

キレるステップ

ギャオス

あんたはいつもそうだよ！
あんたは全然わかってないよ！



相手より上に立とうとする表現スタイル

自分の気持ちをおし通して、相手を思い通りにすることを第一に考える。

相手を主語にして語る“あなたメッセージ”相手を打ち負かすように主張をぶつける。

相手の言い分を認めることは負けることだと思っているため、

自分の言い分が通らないと陰で落ち込み、人前では強いフリをする。

自分がこういう自己表現スタイルをとったときのことを思い出してみましょう。
いつ/どこで/どんな状況で/だれに対して、このステップを使いましたか？
後で、どんな気分になりましたか？ その相手とは、どんな関係になりましたか？

Passive

タメるステップ

オドオド

あの・・・何て言ったらいいか
たぶん・・・つまり・・・
わかっていると思うけど・・・



相手より下に立とうとする表現スタイル

対立することを恐れて、相手に向きあうことを避け、

自分の気持ちをおし隠す。相手に従うことで関係を取りつくりうが、

相手が自分の気持ちを察してくれることをひそかに期待している。

自分で選択・決定しない。相手しだいなので、

結果が悪いときには相手のせいにし、自分を責めたり、あわれむ。

たとえ、ノン・アサーティブな3つのステップを踏んだとしても、それを自覚すれば、いつだってアサーティブな自己表現でやり直すことができます。自分のステップを自覚することが、新しいコミュニケーションへの扉を開くカギとなります。

Passive-Aggressive

コモるステップ

ムツリ

あなたは、それでいいのかな？
みんなは困っているかもしれないね



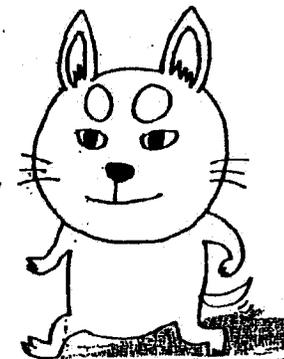
表面的には受身ステップをとって相手と向きあうことを避けるが、実は攻撃ステップのように相手を思いどおりにあやつろうとする。理性的スマートなポーズをとり、なんにでも黒白をつけて、相手の気持ちを封じこめたり、相手に罪悪感を抱かせてコントロールしようとする。

Assertive

しなやかステップ

アサーティブ

私はイヤだな。
あなたは、どう思う？
気持ちも聞きたい。



自分の気持ちに耳をすませ、それを正直に認める。

私を主語にする、“私メッセージ”で相手に向きあい誠実に伝える。

人と人のちがいを認め、おたがいの気持ちをやりとりすることで

問題を解決し、対等な関係をつくりようと努める。

◎ロールプレイ（劇）を見て

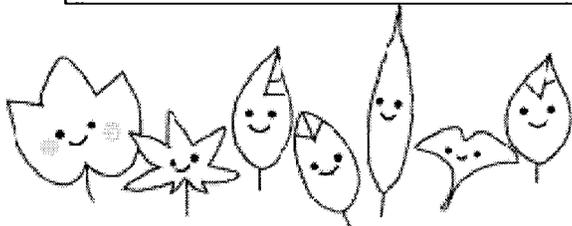
a. 彼女の本当の気持ちは？

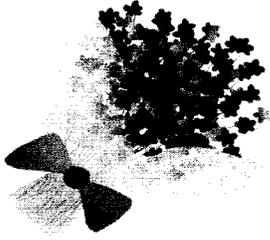
b. 彼はどう思っているのかな？

c. 二人の会話の中でジェンダーのすり込みを感じた部分を書いてください

d. つき合ったらキスをしないとイケないのかな？

e. あなたはどんなつき合いをしたい？





NPO法人えんばわめんと堺/ES
SAY(性・生)の会

大阪教育大学付属平野中学校 2年生のみなさんへ
ワークショップに参加してくれてありがとうございました。
みなさんからたくさんの感想や質問をもらい私たちもうれしく思っています。
ここでは一部の質問に答えていきます。

- *少女漫画が大好きです。少女漫画は見てはいけないのですか？
→そんなことはないですよ。少女漫画だけではなく、色々な雑誌などで描かれている世界と現実の世界は違うということを知っておいてください。
- *ラブホリって何ですか？
→ラブホリスティックの略で、恋愛依存症のことを言います。
- *性行為ってなんですか？
→ある辞書によると「性に関する行動」と書かれています。一般的にはセックスを指します。
- *性の関係はいつからもったらいいですか？中学生ならどこまで？
→そんな決まりはありません。セックスは子どもにはしてほしくないです。おとなになって、相手と自分に責任をもてるようになれば選ぶことができます。
- *おっぱいはどうやったらおおきくなりますか？
→おっぱいの形や大きさは人それぞれです。成長の仕方も人それぞれです。
- *結婚したら赤ちゃんがほしいけど、行為をしたいとは思わない。どうすればいいですか？
→今はその自分の気持ちも大切にしてください。将来おとなになった時に、赤ちゃんが欲しいと思ったら、出会った相手と二人で相談して欲しいです。

*ジェンダーとはなんですか？

→社会的・文化的性差のことです。男はこうあるべき、女はこうあるべきといった社会が勝手に決めた役割やイメージのことです。

*女の子の口説き方（くどきかた）を教えてください。

→口説き方に決まりはありません。あなたの好きだという正直な気持ちをストレートに相手に言葉で伝えてみてはどうですか。自分も相手も傷つかないようにタイミングや場所もよく考えてみる必要があると思います。

*力で解決しようとする人のなだめ方は？

→なだめる必要はありません。なだめることができなくても、あなたの責任ではありません。イヤと感じたら距離をあげましょう。そして誰かに相談しましょう。

*キスは何のためにするのですか？

→愛情表現や挨拶としてキスをすることがあります。地域や習慣によってばらつきがあります。

*人と付き合うとはどういうこと？

→付き合いには色々な意味がありますが、恋愛関係のことかな・・・人は人を好きになると一緒にいたいなあという気持ちがわいてくるかもしれませんね。

*自分のことを大事にできません。どうしたらいいですか？

→大事にしていない時ってどういう時かな？大事にできていないなと気づくことは大切なことです。そんな時、誰かに気持ちを聴いてもらうことも、自分を大事にすることにつながります。

